



Basic & New

2-T-119E00086

日本ペイント株式会社

塗装仕様書 < 塗替え >
エポキシ仕様
ダム・堰施設技術基準 (案) a - 1 仕様
管理番号 N0301

適用部位 水利設備、鋼構造物全般
 特徴 耐水性、高防錆性、耐薬品性、鉛クロムフリー

工程	塗料名	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	膜厚/回
素地調整	ブラストでISO Sa2 1/2まで除錆する。 ブラスト処理ができない場合、箇所については電動工具にてISO St2、St3までケレンしてください						
第1層(下塗)	エポタールNB - 20F (変性エポキシ樹脂塗料)	0.40	24時間以上 7日以内	エポタール シンナー	0~5	エアレス スプレー	100μm
第2層(下塗)	エポタールNB - 20F (変性エポキシ樹脂塗料)	0.40	24時間以上 7日以内	エポタール シンナー	0~5	エアレス スプレー	100μm
第3層(下塗)	エポタールNB - 20F (変性エポキシ樹脂塗料)	0.40	24時間以上 7日以内	エポタール シンナー	0~5	エアレス スプレー	100μm
第4層(中塗)	ハイボン30マスチック中塗 (エポキシ樹脂中塗り塗料)	0.28	16時間以上 10日以内	ハイボン エポキシシンナー	0~10	エアレス スプレー	50μm
第5層(上塗)	ハイボン40上塗 (エポキシ樹脂上塗り塗料)	0.17	16時間以上 7日以内	ハイボン エポキシシンナー	0~10	エアレス スプレー	35μm

- ・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
- ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

塗料名	容 量	混 合 比	ポットライフ
エポタールNB - 20F	18kg Set (塗料液:添加剤=15.3kg:2.7kg)	85:15	5時間(23)
ハイボン30マスチック中塗	20kg Set (塗料液:硬化剤=17kg:3kg) 5kg Set (塗料液:硬化剤=4.25kg:0.75kg)	85:15	8時間(23)
ハイボン40上塗	16kg Set (塗料液:硬化剤=12.8kg:3.2kg) 4kg Set (塗料液:硬化剤=3.2kg:0.8kg)	80:20	8時間(23)

- ・2液形塗料は、塗料液と硬化剤の混合割合を必ず守り、ポットライフ(可使用時間)以内に使用してください(硬化剤の過不足や、ポットライフ(可使用時間)以降の使用は、硬化性、乾燥性、低汚染性能、色相変化が起こるなど、塗膜性能や仕上がりに悪影響を及ぼします)。

施工上の要点・注意事項

- ・原則としてブラスト処理にて1種ケレンを行なってください。1種ケレンと2種ケレンでは塗膜寿命が異なります。
- ・5 以下の気温が連続する場合、及び湿度85%以上の場合は施工しないでください。
- ・冬期または低温時には、塗料の乾燥不良に起因する、流れ・だれ・縮み等の問題が起こることがあります。塗装インターバルを十分とって、被塗面の乾燥を確かめてから塗り重ねてください。
- ・エアレス塗装は可能です。使用量と塗り回数は別途相談ください。
- ・本塗装系は、屋外暴露条件で早期にチョーキング(白亜化)を生じますが、防食性能上は問題ありません。
- ・エポキシ樹脂塗料は、塗装後短期間のうちに降雨や結露あるいは高湿度など、水分の影響を受けると白化現象を起こします。白化現象を起こした場合、ペーパー掛け・シンナー拭きなどで白化した表層を除去した後、塗装してください
- ・補修塗装は原則としてはけ塗りとし、素地の露出した部分及び膜厚不足になりやすい部分に素地調整後すみやかに塗装してください。
- ・使用塗料の詳細説明は各々の製品使用説明書を参照ください。
- ・塗装完了後、侵漬までに20 で7日間以上乾燥させてください。

【第1層(下塗)(エポタールNB-20F)】

- ・暴露されると黄変することがありますが、付着性能や塗膜性能には影響ありません。

【第4層(中塗)(ハイボン30マスチック中塗)】

- ・ウレタンを塗り重ねる場合、夏場に連続して直射日光にさらされる場合は、5日以内に塗り重ねてください。それ以上の場合は面荒しを行ってから塗り重ねてください。

【第5層(上塗)(ハイボン40上塗)】

- ・硬化剤を予めよく振ってから混合してください。
- ・養生期間；最終塗装後14日以上(5)、7日以上(20)、5日以上(30)

【仕様全般】

- ・塗装場所の気温が5 以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ・密閉場所では換気を十分にを行い、溶剤許容濃度以下で作業してください。乾燥中も換気してください。
- ・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化するこ

とがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。

- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved.

この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。